

介護保険開始から20年を振り返って

国による支援拡充が必要

介護サービス推進課 神保 敦史

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支える目的で作られた社会保障制度のひとつです。「財源不足」、「介護人材不足」に悩まされ、制度維持が困難な状況です。

少子高齢化で増え続ける介護費用に対し、国は国庫負担の定率20%負担を見直そうとせず、社会保障制度であるにも関わらず、保険料の引き上げ、利用負担増など国民への負担転嫁、介護報酬を低く設定するなど度重なる国の責任を投げ捨てた改悪で乗り切ろうとしています。利用者の中には重い費用負担により利用をやめる例や、低い介護報酬が介護職員の賃金や労働条件改善を困難にし、人材不足に拍車をかけています。更に介護の現場では、昨今のコロナ禍で懸命に

自治体キャラバン後日譚

諦めないことが肝要

介護保険サービスセンター 丹羽 邦仁

介護が破綻しかけています。私たちが安心して介護に従事でき、高齢者が安心して住み続けられるよう、次の4点を国へ働きかけることが重要です。

① 大企業への法人税優遇や過去最高の5兆3千億円を計上した軍事費等、国の財源の使用を見直し、介護保険財政に対する国庫負担割合の大幅な引き上げ。

② 介護報酬改定では、安定的な事業所経営、

③ 介護報酬など利用者負担に転嫁しないで、国の責任による人材確保対策の実施。

④ 必要な時に必要な介護を受けられるよう介護報酬の引き上げ。

昨年10月23日、岩倉市の自治体キャラバンに参加しました。岩倉市は4年連続で同キャラバンに

参加しています。今年も部署のケアマネジャーの意見や要望を集めて、いくつか要請しました。

配食サービスについての質問は、「配食サービスが年末年始休みになるため、何か検討できないか。また、配食サービス事業者の選択肢を増やしてほしい。」と4年連続で同じ内容の改善を訴えました。

自治体キャラバン終了直後、岩倉市議の木村冬樹さんが話しかけてきました。「この要望は、自治体キャラバン全体の要請項目にはない具体的な要望なので、市議会でも訴えてみます」とのことでした。

日々の業務や社会保障活動に関わらず、継続することが大事であるという考えを改めて思い返した出来事でした。

コロナ禍における地域の取り組みと包括の役割

地域の実情に即して柔軟な対応が求められています

職員学術運動交流会から②

一宮市地域包括支援センター ちあき 課長 藤園 知子

一宮市地域包括支援センターちあきは市から委託を受けた「高齢者のよろず相談窓口」で、地域の

の高齢者を見守るネットワークや高齢者の介護予防・活躍の場作りを進めています。担当地域は、

地域の町内会活動や見守り訪問なども中止され、地域の動きや困りごとを把握することが難しい状況になりました。その為、地域住民の生活の変化や困りごとを把握し、地域活動に役立てたいと新型コロナウイルス流行による自粛生活アンケートをとりましました。

アンケートの結果から、地域の特性に合わせた重点課題を掲げました。

丹陽町は「生活の不活化学子防を指し、自宅でも行えることの共有」。

千秋町は「民生委員さんとの連携や包括のPRで住民の不安軽減」。向山は「コロナ禍での困りごとと解消のために地域ケア会議の開催」。富士は「コロナ禍でも継続されている隣近所との交流などを見つけて体力づくりや孤立化防止」です。

収束の目途がたないコロナ禍ですが、今後とも感染予防対策をしながら地域づくりのお手伝いに取り組みしていきます。



一宮市地域包括支援センターちあきのみなさん

2019年と比べ4月～6月では2～3割減でした。

頻度が減ったかどうか。減った理由、コロナ流行時の困りごと、コロナ禍

でもよかったですと感じたことを調査しました。12月時点での回収数は500人分でした。

外出が減った理由は、4地域ともに「コロナ感染への不安」が一番多く、次いで筋力・体力の低下や体の痛みなど「身体が理由」でした。

「喫茶店の休業で集まれる場所がなくなった」、「物忘れが増えた気がする」、「気持ちの落ち込みがある」などの声がありました。コロナ禍で外出が減った状態が続くと、認知症の進行や人とのつながりの希薄化、筋力低下、うつや閉じこもりといった、身体だけでなく心にも影響が出てきます。

アンケートの結果から、地域の特性に合わせた重点課題を掲げました。

1か月の麻酔科研修を通して、科学的に考えること、常に冷静でいることの大切さを改めて学ぶことができました。素早く適切に対応ができるように、医師として1日も早く成長できるように、これからも頑張りたいと強く思いました。

千秋病院研修医日誌③⑥ 生きていた！大学時代の授業

1年目研修医 加藤 早苗

寒さが次第に和らいで、暖かい日が増えてきました。私は2月、麻酔科研修をさせていだいておりました。

ことなどを専門に行なっている科です。手術を安全に行えるような麻酔管理をするためには、人間の体について、広く知っている必要があります。なぜなら、全ての科の手術の麻酔を行うのが麻酔科医だからです。そのため、麻酔科の先生方は、いろいろな科の患者さんの手術の流れや、起こりうる合併症、麻酔管理として注意すべきことなど、たくさん

麻酔科とは、患者さんが安全に、痛みや恐怖を感じることなく手術を受けられるようにしたり、痛みを苦しむ患者さんの苦痛を除く

か。また、配食サービス事業者の選択肢を増やしてほしい。」と4年連続で同じ内容の改善を訴えました。

市議会の質問は、「配食サービスが年末年始休みになるため、何か検討できないか。また、配食サービス事業者の選択肢を増やしてほしい。」と4年連続で同じ内容の改善を訴えました。



か。また、配食サービス事業者の選択肢を増やしてほしい。」と4年連続で同じ内容の改善を訴えました。

市議会の質問は、「配食サービスが年末年始休みになるため、何か検討できないか。また、配食サービス事業者の選択肢を増やしてほしい。」と4年連続で同じ内容の改善を訴えました。